

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年4月28日（月）

2 確認箇所

- (1) 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備（図1）
- (2) セシウム吸着塔一時保管施設（第三施設）（図1）

3 確認項目

- (1) 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備増設工事の状況
- (2) セシウム吸着塔一時保管施設（第三施設）の増設工事の状況

4 確認結果の概要

(1) 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備増設工事の状況

6号機使用済燃料プールに保管されている全ての使用済燃料は、共用プールへの輸送が計画されている。輸送先の共用プールでは、6号機使用済燃料プールから取り出した使用済燃料を保管するスペースを確保するため、現在保管している使用済燃料のうち十分に冷却されたものを乾式キャスクに装填し、使用済燃料乾式キャスク仮保管設備（以下「乾式キャスク仮保管設備」という。）において一時保管することとしている。

乾式キャスク仮保管設備敷地東側では、保管容量を増やすため拡張工事が進められていることから、その状況を確認した。（前回確認：[令和7年1月27日](#)）

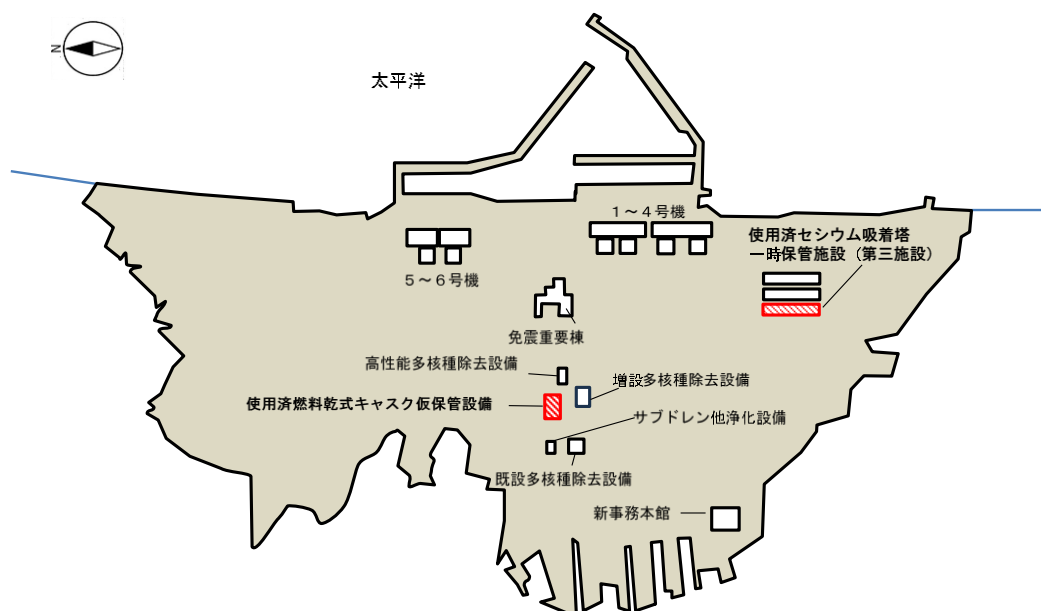
- ・コンクリート基礎の配筋作業は概ね終了しており、コンクリート打設に向けた型枠の設置が進められていた。（写真1）
- ・確認した範囲において、不適切な管理箇所はなかった。

(2) セシウム吸着塔一時保管施設（第三施設）の増設工事の状況

多核種除去設備（ALPS）の汚染水処理により発生する汚泥（スラリー）及び吸着材等の廃棄物は、ポリエチレン製の高性能容器（以下「HIC」という。）に収納され、構内に一時保管されている。HICの一時保管施設であるセシウム吸着塔一時保管施設（第三施設）（以下「第三施設」という。）の増設工事が進められていることから、その実施状況を確認した。（前回確認：[令和6年9月20日](#)）

- ・HICを格納するためのボックスカルバートは4列×16行×2段積みをも1ブロック単位として設置されている。現地確認時、増設が予定された21ブロック目の設置は完了していた。（写真2）
- ・第三施設はすべてフェンスで囲われており、南側には門扉が設置されていた。（写真2）

- ・ボックスカルバートの周囲には側溝が設置されていた。東側の側溝には仕切弁が設置され、漏えい等の不具合があった場合には閉鎖できる構造となっていた。(写真3)



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1①) 配筋の状況



(写真1②) 型枠の設置状況



(写真2①) 第三施設の外観(南西側)



(写真2②) 第三施設の外観(南東側)



(写真3①)側溝の状況(西側)



(写真3②)側溝の状況(東側)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。